

<h2>テーマ2 地震被害予測手法と 都市の地震対策</h2> <p>三浦 弘之 先進理工系科学研究科・ 建築学プログラム</p> <p><b>HR RC</b> LAPTOP WORKSTATION</p> <p>2009年1月1日　広島大学院工・資源研究センター(情報社会オープンディスカッショ)</p>	<h3>テーマ2の概要</h3> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 地震はいつ起きる？どれくらいの規模？</li><li>■ 地震による揺れ・地盤災害は？</li><li>■ 誰か、何が、何時、何所で起きた？</li><li>■ どうして、まちづくりはどうあるべきか？</li></ul>
<p><b>ディスカッションのテーマ</b></p> <p>後藤先生</p> <ul style="list-style-type: none"><li>✓ 断層近傍に住宅地は存在？活断層法は必要？</li><li>✓ 活断層の誤差は？</li><li>✓ 広島以外の中国地方の活断層・地震活動は？</li></ul> <p>田中先生</p> <ul style="list-style-type: none"><li>✓ 事前復興の歴史・目的は？</li><li>✓ 市街化調整区域とは？ 市街化区域との違い</li></ul> <p>松崎様</p> <ul style="list-style-type: none"><li>✓ 被害想定をうけての県の対応・対策は？</li><li>✓ 「みんなで減災」活動について</li></ul> <p>柳追様</p> <ul style="list-style-type: none"><li>✓ 住民の住宅耐震化、家具固定に対する意識は？</li><li>✓ 防災マップの利活用事例、防災教育について</li></ul>	





<h2>広島県内で発生した地震と 活断層との共存</h2> <p>後藤秀昭 (地理学) 人間社会科学研究科・文学部</p>	<h3>地震との共存はできるのか?</h3> <p>気象庁からの情報</p> <p>天気予報 近未来を「予測」</p> <p>地震「情報」 地震「発生後」の情報</p> <p><b>【地震は突然やってくる!】</b></p>
<h3>活断層とは何か?</h3> <p>地表地震断層と裏盤断層</p> <p>積み重ね 地形から活断層を探す</p> <p>地下の断層が地表に現れたもの</p> <p>最近の地震時代に繰り返し活動し、 近い将来に活動する可能性の高い断層</p>	<h3>地震との共存の方策</h3> <p><b>【地震は突然くる!】 短期予知は困難</b> (大きな揺れが来る前に知らせてくれる?—緊急地震速報) 直下にある活断層では難しい</p> <p><b>【被害は小さくできる】</b> ・災害の素因(ハザード) : 場所により異なる。 「地形」と「歴史」を「地図」で知る。</p>
<h3>被害を小さくするために</h3> <p><b>すれの災害</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>活断層の位置の確認           <ul style="list-style-type: none"> <li>活断層の直上だけは避ける</li> <li>近くに活断層</li> </ul> </li> </ol> <p><b>ゆれの災害</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>耐震性の高い家に           <ul style="list-style-type: none"> <li>新築時に、耐震性を持った建物に</li> <li>古い住宅なら、耐震補強(柱や梁を金属でとめる)</li> </ul> </li> <li>万一に備え地震保険へ</li> </ol>	







## 災害軽減のため 都市計画・まちづくり・土地利用

田中 貴宏(広島大学)



### 災害軽減のための都市計画的対応

- 危険なエリアからの撤退  
(土地利用)
- 危険なエリアの建物の立て方の工夫  
(建築)
- 避難の支援  
(まちづくり・福祉)

### 災害リスク曝露人口



### 地区住民による計画案



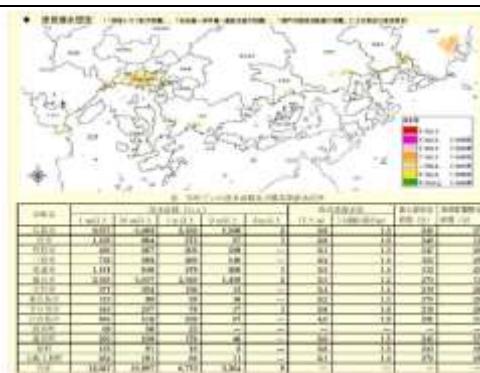
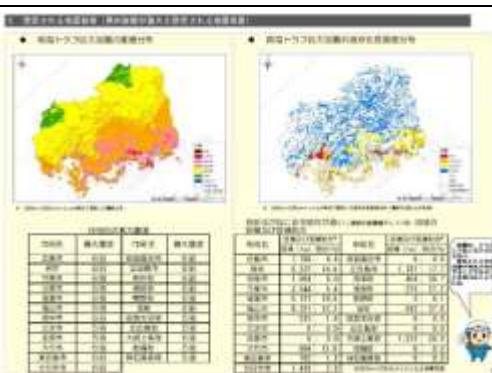
### 「地域支え合いマップ」をつくる意義

- ・ 地域の皆さんと、情報を共有する。  
→ハザード、要配慮の方、避難場所…
- ・ 地域の皆さんと、鳥の目をもつ。  
→地域の全体(位置関係等)を把握…
- ・ 地域の皆さんと、目的を共有する。  
→地域で支え合い、被害が出ない地区に…
- ・ 地域の皆さんと、次の活動を起こすきっかけとなる。  
→避難の計画づくり、日ごろの見守り等…

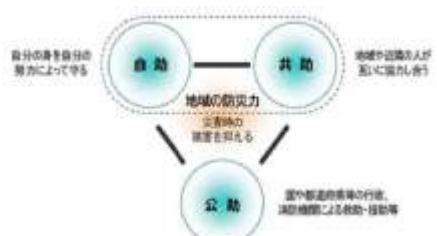


## 南海トラフ巨大地震等による 広島県地震被害想定結果について

令和2年12月16日(水)  
庄島熱危機管理課







広島大学歴史総合研究センター2周年記念オープンディスカッション

広島市防災土ネットワーク

Digitized by srujanika@gmail.com

- 

---

www.nature.com/scientificreports/

- ◆指出・説明用  
作業員の名前、会員登録ID  
会員登録ID

◆説明用  
会員登録IDと会員登録ID

◆指点・範囲用  
会員登録IDと会員登録ID

### 地震への備え10か条

- 日頃からの備え10か条
- 第1条 あわてず行動できるよう「家族と日頃から組し合おう」
- 第2条 廉崩の危険箇所や「シワツ山に滑落町」を知りよう!
- 第3条 家具等の転倒防止、室内倒置対策など安全で確保しよう!
- 第4条 住宅耐震化や避難場所の確認など防災知識を身に付けよう!
- 第5条 防災用具の購入を全員しよう!
- 地震が発生した場合の行動5か条
- 第6条 落ち着いて身の安全を確保しよう!
- 第7条 あわてず火の始めを防ごう!
- 第8条 そみやかに安全な避難へ参画しよう!
- 第9条 「震度が下りた安否」と「かく震度が高まれば、避難しよう!」
- 第10条 正確な情報をつかむようじよう!

### 南海トラフ地震を想定した国土強靭化政策とは？

- ①総務省の策定化
- ②強化化政策
- ③ECA(東京港避難計画の策定)

近畿地方の最新地図計画  
地図計画審議に基づく災害対応指揮官の連携機関の優先度が高い「非常時指揮業務」による緊急着手し、本溪の地図・森林・財産及び生活を守る。  
②強化化政策  
不適な土地整地は非常に危険。災害後しばらくの間は船舶により電気供給が止む。

二種類（震度観測・対応）  
内陸電気人、しばらくは携帯電話はかかりにくくなる。携帯電話による電子メールは機能なしにしておきましょう。避難の発生があるものの私物を送信する手にならず。

③ECA  
規定地図における範囲では、地域（小字単位）の震度率を1%前後と想定  
④下水道  
規定地図における範囲では、各行政区を含む地域の下水道構造実験人口率を20%～40%と想定してあります。下水道（トイレ等）が利用できない可能性は高い。

⑤水素  
製油ガスの緊急供給する、緊急停止した場合、被災者の駆除の実績が困難となる。









